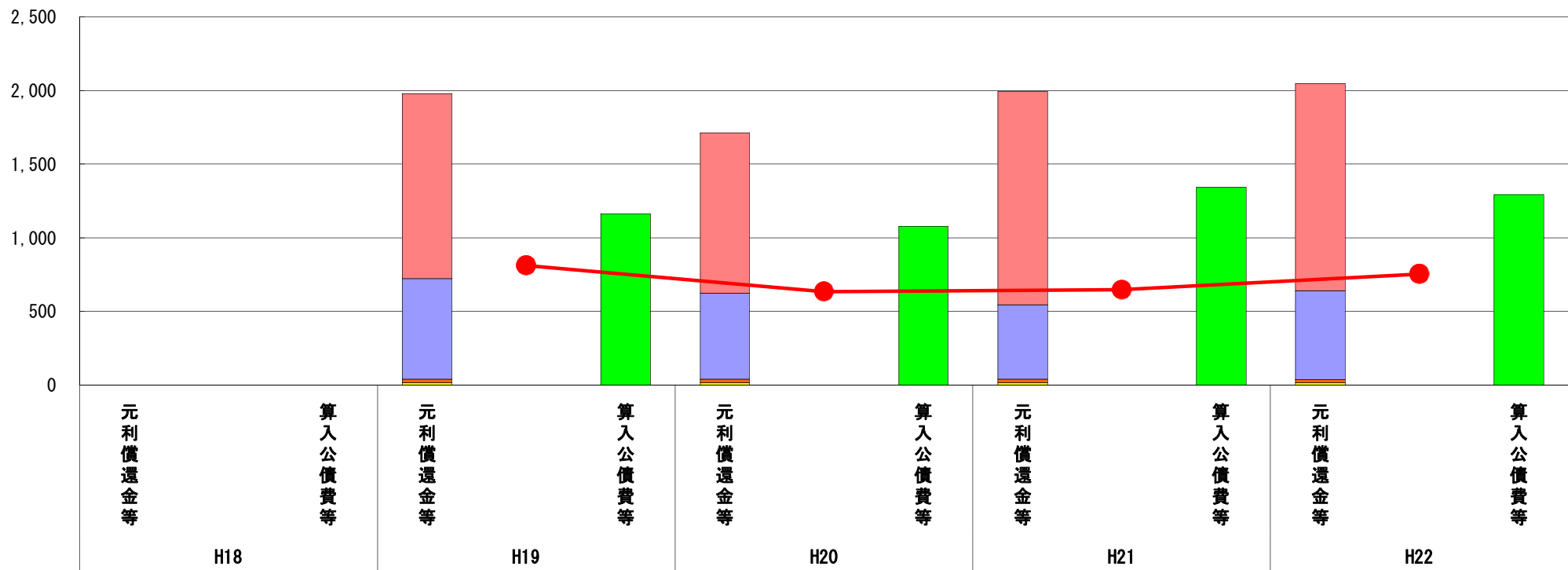


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道芦別市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	1,253	1,089	1,449	1,405	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	684	583	504	605	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	22	22	22	22	
	債務負担行為に基づく支出額	-	20	20	20	17	
	一時借入金利息	-	0	-	-	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	1,166	1,079	1,347	1,294	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	813	635	648	755	

## 分析欄

近年の実質公債費比率の分子はほぼ横ばいで推移しているが、今後は過疎対策事業債等の交付税に算入される起債の増加が見込まれるため、分子の減少が予測される。今後とも緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、将来に渡り持続可能な財政基盤を構築できるよう努める。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。